

六甲高山植物園 世界中のあこがれの高山植物！ 秘境の花「ヒマラヤの青いケシ」が見頃

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、澄み切った青空のような花「ヒマラヤの青いケシ」が見頃です。

“ヒマラヤの青いケシ”や“ブルーポピー”と呼ばれる青いケシの仲間「メコノプシス・ベトニキフォリア」や「メコノプシス・グランディス」が次々と開花しています。中国・ヒマラヤの高山帯に自生する高山植物で、暑さに弱く 25 度以上の日が続くと栽培困難になるため、夏は冷室に入れて育てています。西日本で屋外観賞できる施設は当園のみです。当園では 2019 年から種子からの開花に成功し、今年も約100株を展示しています。

朝ドラマの主人公のモデルである牧野富太郎博士の特別展【六甲山ボタニカルフェア】六甲高山植物園開園 90 周年特別企画「牧野の足あと～神戸で見つける博士と植物～」も8月15日(火)まで会期を延長して、好評開催中です。なお6月4日(日)には、高知県立牧野植物園から講師を招いて、「牧野富太郎博士とゆかりの植物たち」の特別講演会を開催します。(講師:藤井聖子氏<樹木医・学芸員>、13時30分～15時、参加人数40名<WEBと電話予約>、入園料のみ)



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137
住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(木・祝) ※休園日あり。HP をご確認ください。

【開園時間】10:00～17:00

【入園料】大人(中学生以上)900円/小人(4歳～小学生)450円【駐車場】1,000円

※荒天等により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。